

第一回 π 造形若手会に参加して

大阪大学関研究室 野口真理子

略歴

2013年大阪大学工学部応用自然科学科卒業

2015年大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻修了見込

趣味：アカペラ・ねこと遊ぶ・お菓子作りなど



2014年11月20日～21日に記念すべき第一回目のπ造形若手研究会が熱海で開催され、私も参加させていただきました。若手会の様子や感想などについて、恐縮ですが私なりに書かせていただきます。

今回の若手研究会では、若手の先生とドクターコースの学生の皆様のご講演を聴くことができました。今回のご講演では、A01班とA02班に所属メンバーのご発表が中心であり、錯体化学を専門とする私としては、初めて聞く言葉や概念がありましたが、とても美しい分子や集積構造が面白い性質や機能を発揮することがとても興味深く、勉強になりました。A03班からは私が所属する関研究室以外にも竹延研究室の和田さんの研究発表があり、より物理的な研究について学ぶことができ、感激しました。自身と異なる分野の研究発表を拝聴する機会はなかなかないため、貴重な体験ができてよかったです。また、先生方の講演は、研究内容・成果だけではなく着想に至る過程や研究の楽しさなどもお話いただきました。ポスター発表もあり、私も参加させていただきました。さまざまな分野の質問や助言を頂き、とても勉強になりました。

ポスター発表後は、部屋でお茶を飲みながら、同じ部屋の皆様と談笑しました。皆様親切で、お話するのが楽しかったです。夜にはおいしい料理をいただきながら、流行を取り入れた個性豊かな研究室紹介を聞くことができました。これほど多くの研究室が参加しているのだととても驚きました。その後の懇親会では、たくさんの先生方や学生の皆様と交流することができ、有意義な時間が過ごせました。今回の若手研究会を通して、さまざまな貴重な体験をすることができました。博士後期課程への進学後は、専門分野はもちろんですが、その他の周辺分野についても積極的に取り組むことで、「π造形科学」のような分野にとらわれない研究を行いたいと考えています。